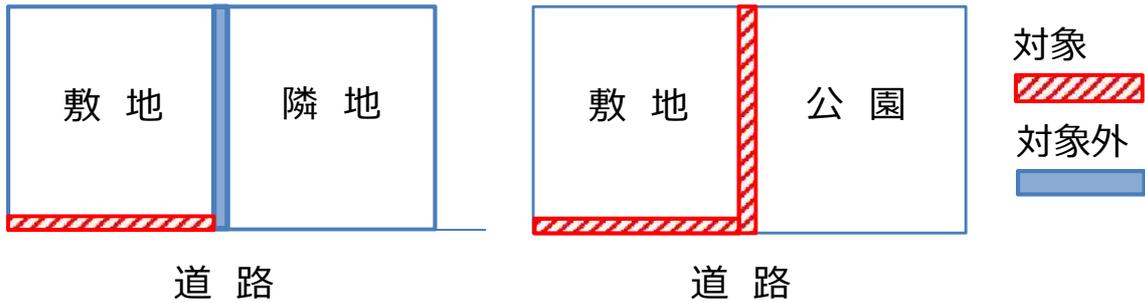


補助制度よくある質問

1. 対象となるブロック塀等について

道路等又避難所等に面し倒壊等の恐れのあるもの

※道路等又は避難地等とは、通学路や不特定多数の者が通行する道、都市公園、避難場所、避難所の敷地等をいい、私道も含まれます。

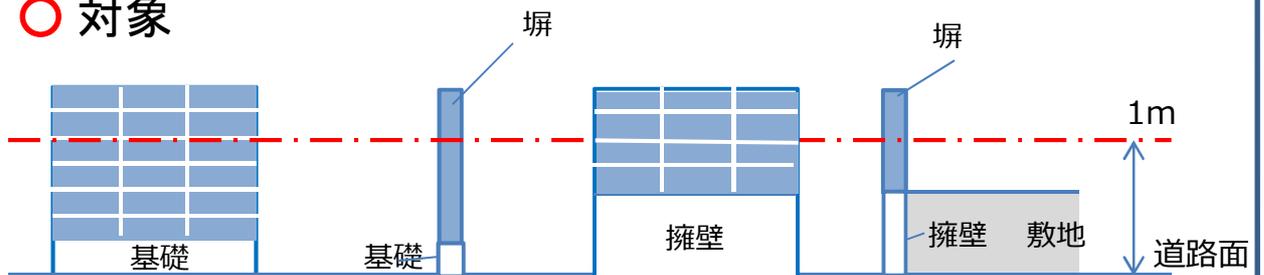


※敷地内通路に面する塀は対象になりません。

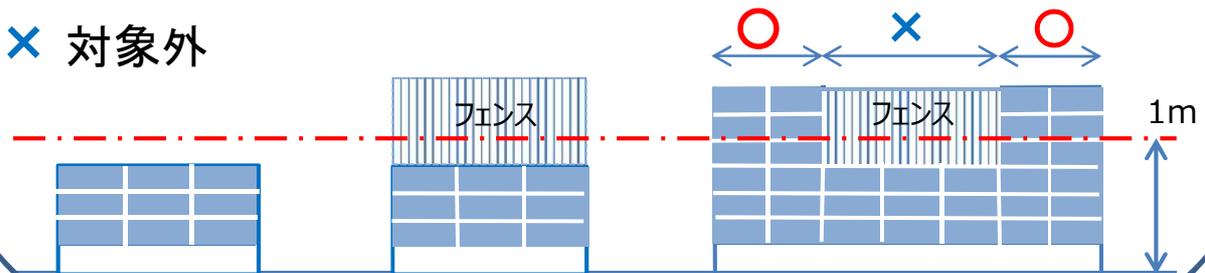


道路面からの高さが1m以上のもの

○ 対象



× 対象外

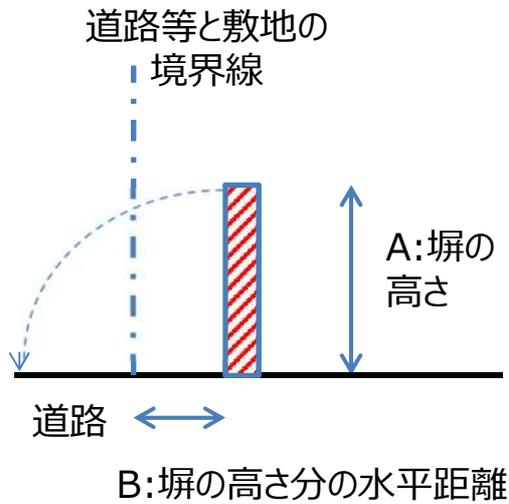


対象となるブロック塀等について

- ・道路等に接して設けられていること
- ・ブロック塀の高さ(A)が、全面道路等から下がった距離(B)を超えるもの

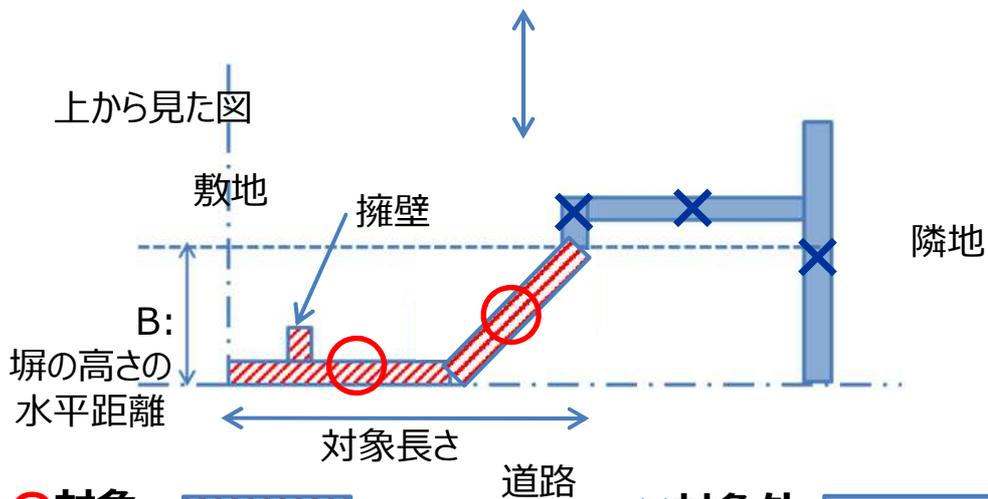
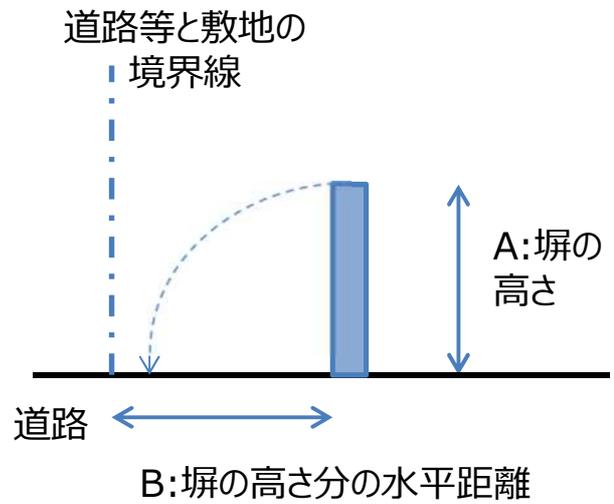
○ 対象

$$A > B$$



× 対象外

$$A < B$$



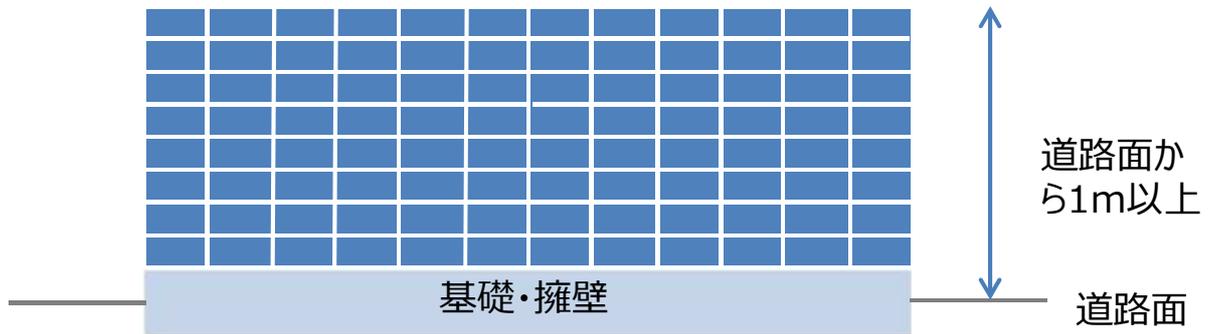
○ 対象

前面道路に並行する塀、Bの範囲内にある塀、控壁（ただし控壁は工事費に含まれるが、長さには算入できない）

× 対象外

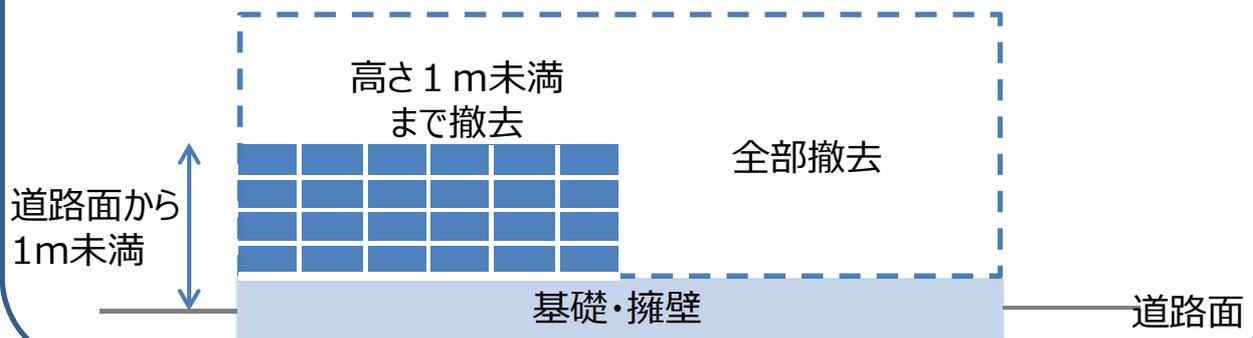
Bの範囲外にある塀、直行する塀、隣地境界線部分の塀

2. 撤去工事について



○ 補助対象となる撤去工事 ○

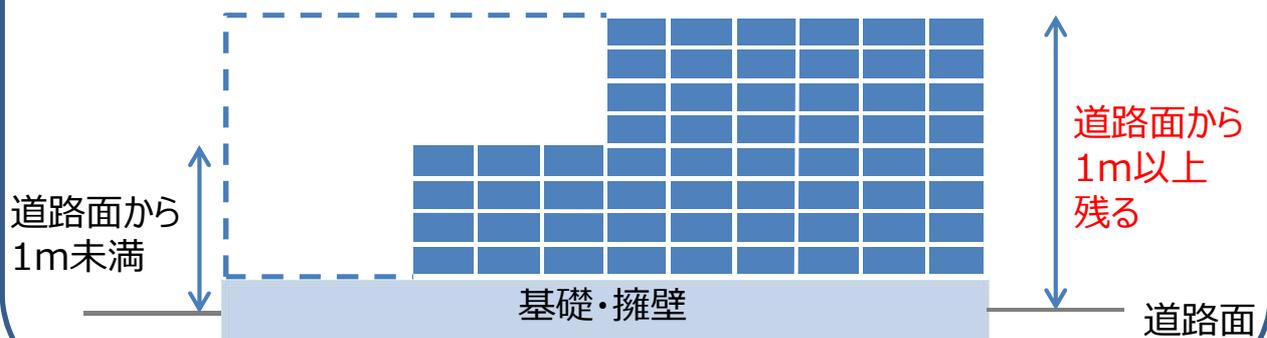
全部撤去か高さを道路面から1m未満にするものが対象です。



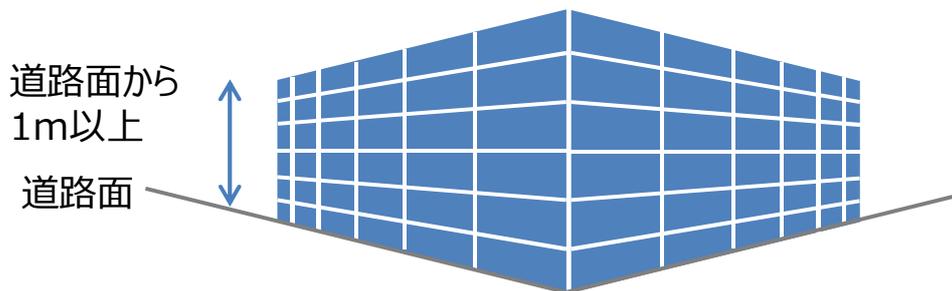
× 補助対象とならない撤去工事 ×

同一面上で一部を1m以上残すことはできません。

ただし、構造上必要なものは残すことができます。



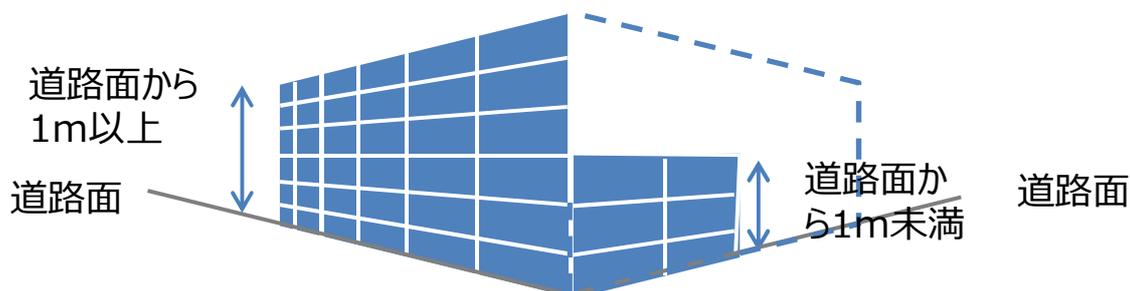
3. 角地でそれぞれ道路等又は通学路等に接している場合



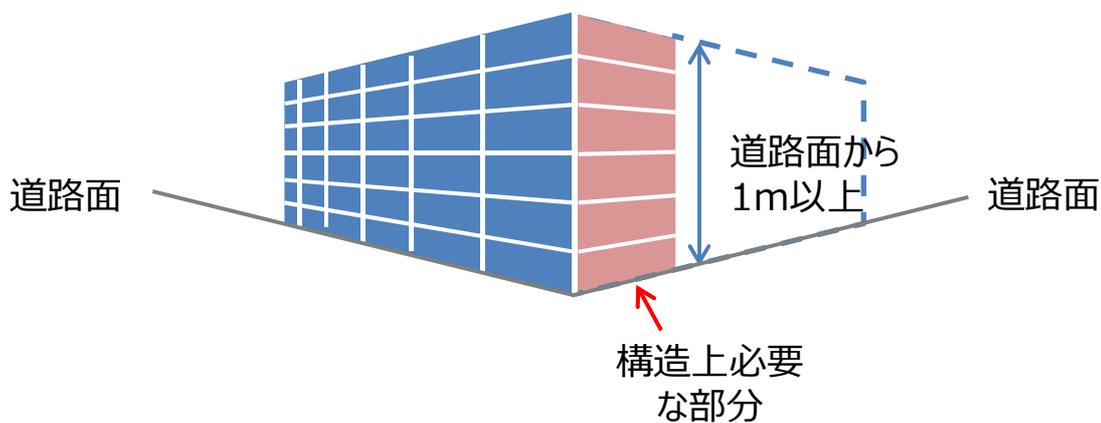
○ 補助対象となる撤去工事 ○

片面だけを全部撤去か1m未満にする場合も対象となります。

ただし、残したブロック塀等は所有者が適正に維持管理する必要があります。



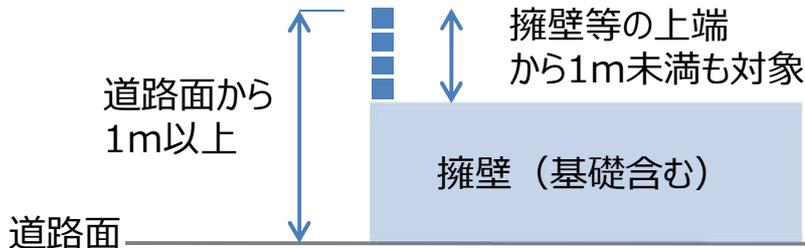
片面を全撤去し、残ったブロック塀等の控え壁として、構造上必要な部分を一部残す場合は対象となります。



4. 擁壁の上にブロック塀等がある場合

○ 補助対象となるブロック塀等 ○

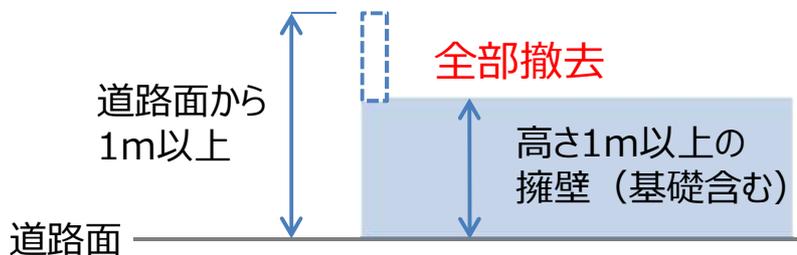
道路面からの高さが1 m以上であれば、ブロック塀等が1 m未満でも補助対象となります。



(1) 擁壁が道路面から1m以上ある場合

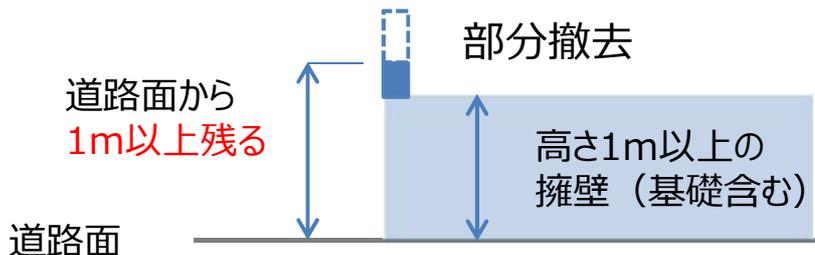
○ 補助対象となる撤去工事 ○

擁壁等の上のブロック塀等を全部撤去した場合は対象となります。



× 補助対象とならない撤去工事 ×

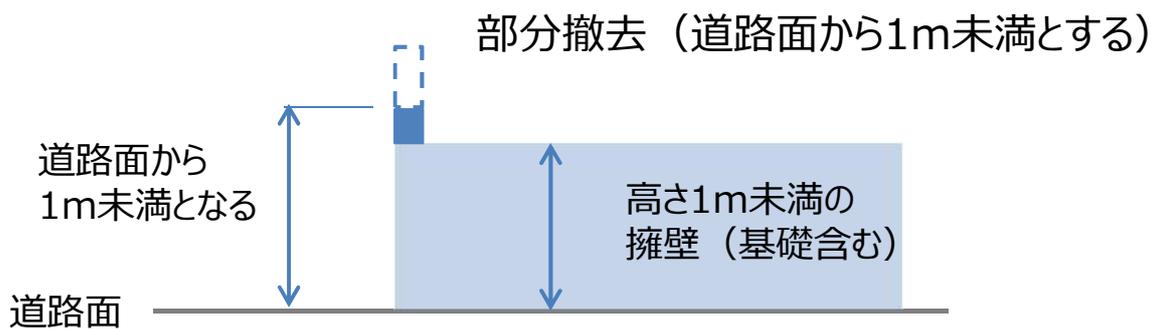
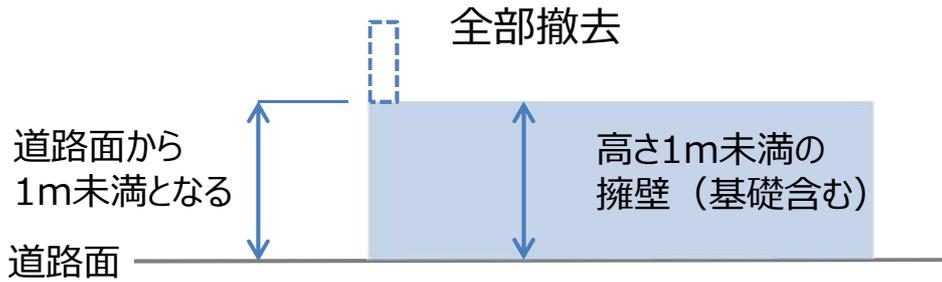
道路面から1m以上残した場合は対象となりません



(2) 擁壁が道路面から1m未満の場合

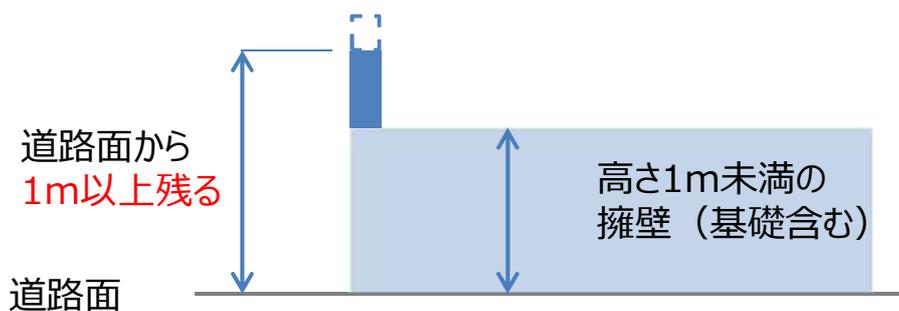
○ 補助対象となる撤去工事 ○

1 m未満の擁壁等の上にあるブロック塀等を全部撤去か、擁壁等を含めて、道路面からの高さを1 m未満にした場合は、撤去工事の補助対象となります。ただし、残したブロック塀等は所有者が適正に維持管理する必要があります。

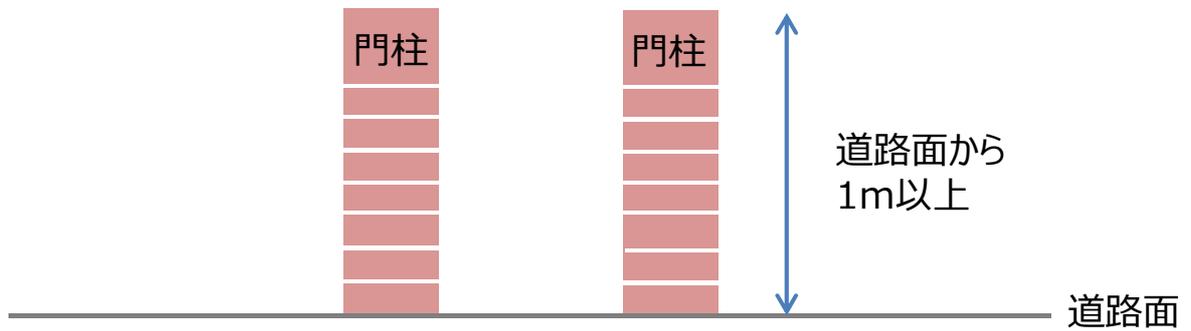


× 補助対象とならない撤去工事 ×

部分撤去（道路面から1m以上残した場合は対象となりません）

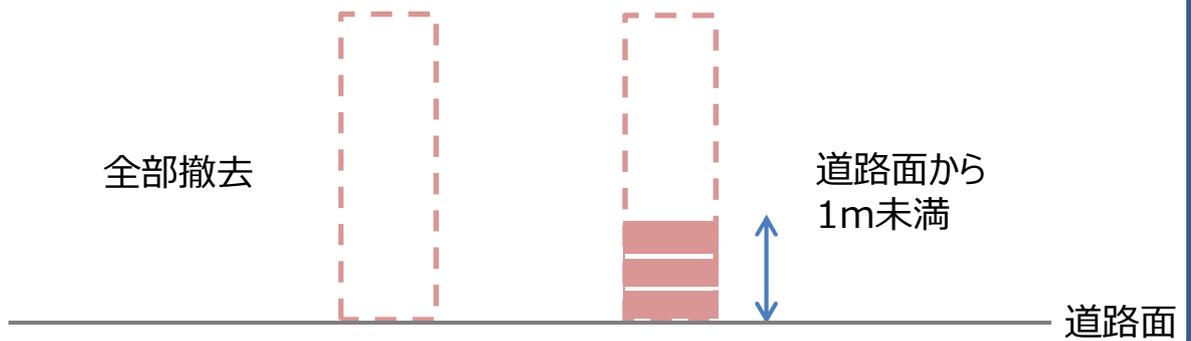


5. 組積造の門柱について



○ 補助対象となる撤去工事 ○

全部撤去か高さを道路面から1m未満にするものが対象です。



× 補助対象とならない撤去工事 ×

門柱を1m以上残す場合は対象となりません。

